

◆福島県の南部軸

南部軸は新潟県から南会津・県南地域を経ていわき地域を結ぶ福島県の県土連携軸であるとともに、縦軸と連携し北関東との連携・交流を担うものです。この南部軸の根幹を担うのが国道289号であり、これまでに甲子道路や荷路夫バイパスなどを整備し、県内外の多くの車が利用しています。引き続き、渡瀬バイパスの他、八十里越道路や南倉沢バイパスなどを整備し、利便性が高く安全な南部軸を築いていきます。



国道289号 渡瀬バイパス・青生野工区

【福島県東白川郡鮫川村渡瀬～青生野地内】



◆国道289号渡瀬・青生野地域のいま

現在の国道289号は、渡瀬川に沿った谷間を通っているため道幅が狭く、大型車両とのすれ違いが出来ない場所が多く安全な道路交通が確保できていません。また、急峻な地形であるため落石などの危険な箇所が多く、大雨で累計雨量100mmを超過した場合には通行止めとせざるを得ず、その場合は県道勿来浅川線や県道いわき石川線まで大きく迂回する必要があります。

このため、平成30年代前半の供用開始を目指し、危険箇所を避けた新たな道路として渡瀬バイパスと青生野工区の整備を進めています。



道幅が狭く大型車とのすれ違いが困難な箇所



雨量による通行規制の案内表示板



お問い合わせ先
福島県県南建設事務所 事業部 道路課
〒961-0971 白河市昭和町269番地
(電話) 0248-23-1620
(URL) <http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/41330a/>

令和元年8月版

福島県県南建設事務所

渡瀬バイパス整備事業 L=7,439m W=6.0(8.0)m

渡瀬1工区
L=1,620m

整備済み区間

渡瀬2工区
L=3,396m

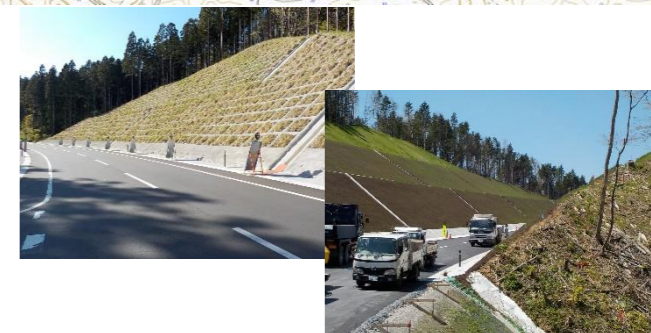
渡瀬3工区
L=2,423m



①(仮称)1号橋



②(仮称)2号橋架橋地点



③青生野工区道路改良工事の様子と現在

国土地理院図使用